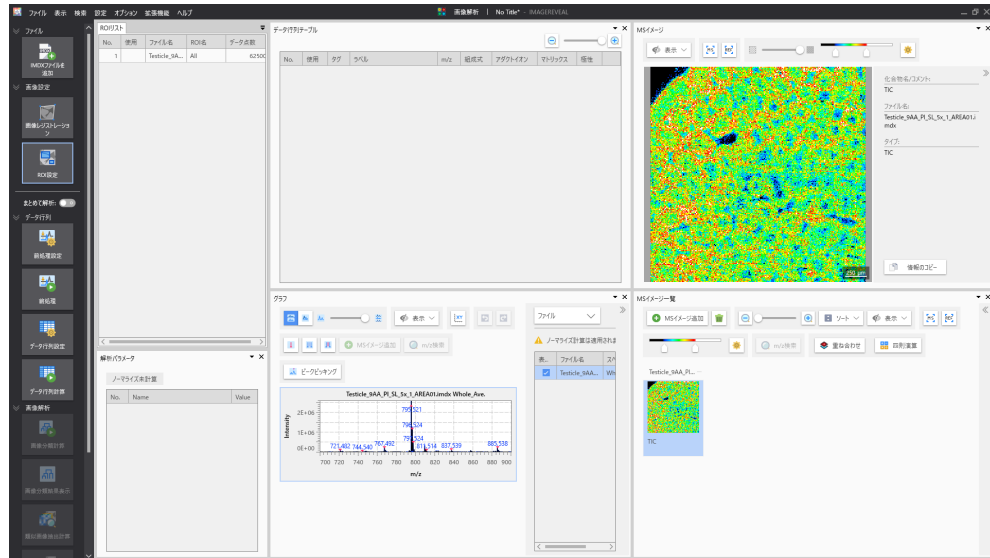


HELPの使い方

F1キーを押すとその画面のHELPが表示されます。



IMAGEREVEAL Help

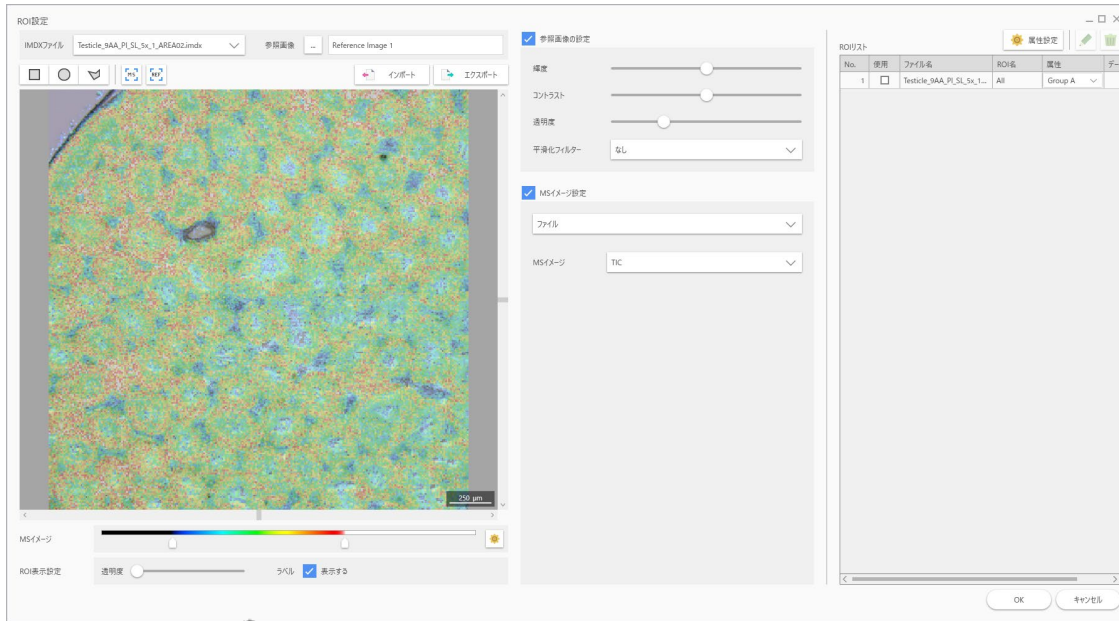
メインウインドウ

メインウインドウの構成は以下の通りです。
☞ メインウインドウの構成は解析の種類によって異なります。ここでは例として差異解析のメインウインドウで説明します。

The diagram shows the main window layout with numbered callouts: 1 points to the title bar, 2 to the menu bar, 3 to the assistant bar, 4 to the analysis method selection area, 5 to the data list table, 6 to the graph area, 7 to the MS image area, 8 to the heatmap area, and 9 to the bottom status bar.

No.	名称	説明
1	タイトル	読み込んでいるプロジェクトの解析モードとプロジェクト名を表示します。
2	メニュー	画面に関わる設定や解析時の細かい設定を行います。
3	アシスタントバー	解析に必要な処理がボタン形式で並んでいます。アシスタントバーに沿って上から順に操作することで、簡単に解析を行うことができます。 ☞ 差異解析、画像解析のアシスタントバーでは[はじめて解析]スイッチをアシスタントバー中に表示します。[はじめて解析]スイッチをオンにすると、データ行列の作成から解析までをまとめて実行するための「解析」ボタンを表示します。 ・差異解析の[はじめて解析]スイッチは、解析:検定、PCA、PLSをまとめて実行し、解析結果からROI間で特徴的な差があるMSイメージを[MSイメージ一覧エリア]に追加します。

各画面で適したHELPが表示されます



この画面では、測定データ上で比較・分類を行いたい部分(興味領域(Region of Interest: ROI)を設定します。
スクリーニングおよびスクリーニング(定量)ではROIは各測定点に自動で設定されるため、ROIリストのみが表示されます。

この画面は、次の手順で開きます。

1. アシスタントバーの「画像設定」から (ROI設定) をクリックします。
[ROI設定]画面が開きます。

名称	説明	設定範囲(単位)	デフォルト値
IMDXファイル	読み込んだ全てのIMDXファイルがリスト形式で表示されます。 ROIを設定するIMDXファイルを選択します。	-	-
参照画像	選択したIMDXファイルに保存されている参照画像が全て表示されます。 重ねる参照画像を選択します。	-	-
<input type="checkbox"/> (長方形ROI)	クリックし画像上でドラッグすると、長方形ROIを設定します。 ROIを連続して設定する場合は、「R」キーまたは「Enter」キーを押してドラッグすると便利です。	-	-
<input type="radio"/> (円形ROI)	クリックし画像上でドラッグすると、円形ROIを設定します。 ROIを連続して設定する場合は、「C」キーまたは「Enter」キーを押してドラッグすると便利です。	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> (自由形ROI)	クリックし画像上で頂点にしたい位置でクリックすると、自由形ROIを設定します。 ダブルクリックすると描画を終了します。 ROIを連続して設定する場合は、「P」キーを押してドラッグすると便利です。	-	-
(MSイメージにフィット)	MSイメージが全体に表示されるようMSイメージの表示サイズを調整します。	-	-
(参照画像にフィット)	参照画像が全体に表示されるようMSイメージの表示サイズを調整します。	-	-
(インポート)	エクスポートされた.roisファイルをインポートします。 異なるIMDXファイルでもインポートできますが位置は保証されません。	-	-
(エクスポート)	現在選択しているIMDXファイルで登録したROIをバイナリ形式(.rois)でエクスポートします。	-	-
表示エリア	参照画像およびMSイメージが表示されます。ROIを設定します。	-	-
参照画像の設定	チェックを入れると表示エリアに参照画像を表示し、参照画	オン、オフ	オン

